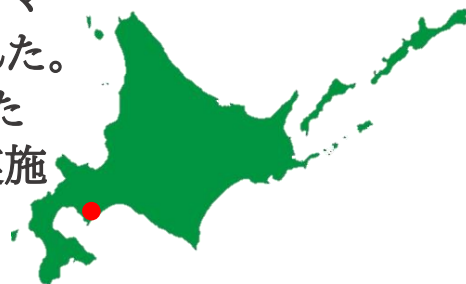


令和4年度登別市総合防災訓練

「もしものとき、助け合う意識を持とう」をテーマに大規模災害を想定し、総合的な訓練が実施された。当局からは、水素燃料電池自動車(FCV)を展示したほか、外部電源供給システムを利用した給電を実施し、防災面でのFCVの優位性について広く周知を行った。



開催概要

- **日時** 令和4年(2022年)7月30日(土)
- **会場** 登別市幌別西小学校(登別市片倉町5-13)
- **内容** 防災面での燃料電池自動車の優位性についての周知及び水素普及促進
- **参加人数** 700人



災害時用自動販売機とFCVを接続し、FCVからの給電を実施。FCV1台でどれだけの電気を供給することができるのか、また、走行距離や充填場所などについての質問が訓練参加者からあがり、関心が高かった。

防災訓練には、消防や自衛隊、地域住民あわせおよそ700人が参加した。



展示物及び訓練の様子